



平成31年 1月18日

真狩高校が優秀賞、ワインを楽しむ会が奨励賞を受賞

～「わが村は美しくー北海道」運動 第9回コンクール表彰団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」）第9回コンクールを開催し、全道61団体（59市町村）の応募の中から、選考の結果、農山漁村における地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞13団体、奨励賞21団体を表彰することに決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から2年に一度、開催しています。

なお、来年度は、今回、表彰された全道の優秀賞の中から大賞を決定します。

後志管内からは4団体の応募があり、以下団体を表彰することに決定しました。

第9回コンクールの概要は別紙1を、表彰団体については別紙2を参照してください。

表彰団体 【優秀賞】北海道真狩高等学校（真狩村）

【奨励賞】ワインを楽しむ会（余市町）

優秀賞表彰式 日時 平成31年1月21日（月）13：30～

場所 真狩村公民館 2F会議室（虻田郡真狩村字光4）

奨励賞表彰式 日時、場所は決まり次第お知らせします。



【「わが村は美しくー北海道」運動とは】（別添）

わが村運動は、地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な人たちが「参加しよう」、「広げよう」、「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズにこうした活動にかかわって行うもので、平成13年から行っています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、小樽開発建設部ホームページに掲載しています。

【問合せ先】 北海道開発局 小樽開発建設部

土地改良情報対策官

今井 一雄（0134-23-5127）

土地改良情報対策官付土地改良情報係主任 角本 美和（0134-23-5232）

小樽開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>





平成 31 年 1 月 18 日
北 海 道 開 発 局

「わが村は美しくー北海道」運動第 9 回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成 13 年から 2 年に一度コンクールを開催しており、今年で 9 回目となります。

今回のコンクールには、全道から 61 件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞 13 団体、奨励賞 21 団体を表彰することとしました。

1. 第 9 回コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道 59 市町村から 61 件（団体）の応募

(2) 審査経過

平成 30 年 3 月～ 6 月 募集

平成 30 年 7 月～ 11 月 全道 10 ブロック※での現地調査
(ブロック審査委員会による全応募団体の現地調査)

平成 30 年 11 月～ 12 月 ブロック審査委員会での審査
(現地調査の結果から、表彰団体の選考)

※各開発建設部の所管を 1 ブロックとしている。

2. 後志管内の表彰団体について

後志管内からは、4 団体から応募がありました。

(1) 優秀賞（北海道開発局長表彰）

・北海道真狩高等学校（真狩村）

(2) 奨励賞（小樽開発建設部長表彰）

・ワインを楽しむ会（余市町）



思いが伝わる「真狩×大豆×高校生」のポスター

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

北海道真狩高等学校

【真狩村】

「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます

はじまりは？

真狩村は、農業を基幹産業として発展してきた純農村です。真狩高校は有機JAS認証圃場で農業を学ぶ「有機農業コース」と、製菓衛生師の受験資格を取得でき、野菜製菓の開発を行う「野菜製菓コース」がある村立の農業高校です。

村の課題として人口減少問題、観光入込客が低水準、雇用が少ない等があります。そこで全国でも珍しい野菜をスイーツにするパティシエを目指している高校生が主体となり、商品開発や食育活動等により「村をもっと元気に！」と立ち上がりました。

おもな活動

真狩村の道の駅に高校生カフェ「La mikka」を設置し、商品開発から販売までを行っています。自分達で育てた野菜や村で採れる野菜を使って、加工したスイーツやパンを販売しています。昨年から地元の豆腐屋と農家の依頼でオール真狩産の野菜と豆腐を使った豆腐ピザを開発し、販売しました。また、地元小学生と大豆の文化を次世代に伝える「大豆100粒運動」を行い、大豆を栽培



地元小学生と大豆の栽培

し、ソイスweetsのブランド化を手がけています。

ケーキ屋のない村で、スイーツの販売、お菓子作りの教室等により、その成果を村へ還元し、地域活性化に取り組んでいます。

「野菜スイーツで村を元気に」を合い言葉に高校生パティシエが村の活性化に取り組みます。

ここが自慢

【野菜スイーツで村を元気に】

今まで野菜がほとんど使われることの無かったスイーツ分野で、高校生が主体となり商品開発から販売までを小学生、生産者、役場等が携わり、村全体で地域特産物を作り上げながら、道の駅で高校生カフェを運営しています。作物栽培の基本を学ぶとともに、野菜を素材とするお菓子作りから、素材の特性を見極められる「素材のわかるパティシエ」を目指しています。



大豆等が入った野菜スイーツ



高校生カフェ La mikka 道の駅で販売

連絡先

代表者名：青木 保繁校長／設立：1948年／会員：98名

住所：虻田郡真狩村字光6

電話番号：0136-45-2357

FAX：0136-45-3514

E-mail：makkari-koukou@makkari-school.jp

URL：https://www.makkari-hs.com



余市町



余市町の美しい農村景観を創出するぶどう畑。
ここで収穫されたぶどうがワインに！

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

ワインを楽しむ会

【余市町】

余市産ぶどうを使用したワインで農家と消費者の交流

はじまりは？

ワインを楽しむ会は、1993年から余市産ぶどうを使用したワインの普及・拡大を進めることを目的に、ワインぶどう栽培農家有志によってはじまり、今年で25回目を迎えました。

余市町では、醸造用ぶどうの生産は歴史があるものの、メーカーへの出荷が主のため知名度が低く、直接生産者と消費者が接する機会があまりありませんでした。

そんな中、消費者が余市産ぶどうを使用したワインを楽しむ会に参加することにより、地元のワインを直接手にとって味わい、その魅力を知り、農家と消費者が交流できる場となっています。

おもな活動

1993年から活動をはじめ、2018年2月で25回目を迎えました。2011年のワイン特区の認定も追い風となり、町内でのワイナリーの設立が相次ぎ、生産者やワインのラインナップも増え、毎年400名を超える参加者が訪れます。中には、毎年道外から訪れるリピーターもあり、満足度の高いイベントとなっています。今ではチケットの入手自体が困難なイベントです。



ウェルカムドリンクサービス



消費者と農家の交流

ここが自慢

【ぶどう農家と消費者の交流】

ブランド化を目指している「余市産ぶどうを使用したワイン」を飲みながら、ぶどう栽培農家と消費者が交流を深めることができるため、年々イベントの参加者は増加しています。

地域の複数の団体が、ワインにとっても合う味付けの料理（鹿肉料理、余市産トマトを使ったトマト鍋等）を提供しており、ワインとのマリアージュが楽しめます。会場への通路にはワインの空き瓶を活用したキャンドルの設置を行い、美しい道の演出をしています。



余市産トマトのトマト鍋

ワインを通して地域住民と連携し、地域活性化に役立つ交流イベントです。

連絡先

代表者名：細山 正己さん／設立：1993年／会員：15名

住所：－

電話番号：－

F A X：－

E-mail：－

U R L：－

備考：0135-21-2123(後援 余市町役場農林水産課)

「わが村は美しくー北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

「景観」の形成

魅力ある活力に満ちた北海道

「地域特産物」のブランド化

活発な「人の交流」づくり

【地域特産物】

地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】

地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

多くの方の協力と連携により運動を推進

支援・応援

北海道田園委員会

学識者、民間企業、報道機関
地方自治体、生産者団体、実践者

- 運動の推進のため、国土交通省北海道局に設置
- 道内外の有識者で構成
- 運動の円滑な推進に対する提言

第8回コンクール大賞受賞団体

北海道幌加内高等学校【幌加内町】

「そば」を活用した学びを通して、人づくりと地域づくりをうまく結びつけた活動に取り組む



十勝パンを創る会【帯広市】

「十勝パン」ブランドの確立を目指して、地域に根差した商品の開発に取り組む



- 参加しようー中心となるのは、地域に住む人々
 - 広げようー活動の輪を大きく、自由に
 - 伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ
- 「地域の資源」を見つけよう
地域の個性を競い合い高め合い
地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第9回「わが村」運動 コンクール

活動団体

↓ 応募(全道から61団体)

(1年目)
現地調査、優秀賞・奨励賞の選考

↓ ・ブロック毎に応募団体の現地調査、及び審査を実施し表彰団体を選考
・優秀賞団体、奨励賞団体を決定

表彰式

(2年目)
大賞の選考

↓ ・各ブロックの優秀賞受賞団体の中から大賞団体を決定

大賞表彰式

H30年度

H31年度

多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/nou_sln/ud49g7000000emhm.html
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→「THE JR Hokkaido」への掲載 (JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→地域イベントに参加し 団体活動を紹介
- 札幌「チカホ」でPR
→デジタルサイネージで放映 (札幌市の協力)
- facebook(フェイスブック)の取組 <https://www.facebook.com/wagamura>
→活動団体の最新情報を広く発信 (NPO わが村は美しくー北海道ネットワークとの共同運営)

